

第三支部



第三支部だより



第三支部理事 大友 正人

さわやかな五月晴れが続き、何をするにも心地よく感じられるこのごろ、いよいよご清栄のことと存じます。さて昨年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、Web開催や開催中止となっていた行事も徐々に現地に開催されるようになり、川越市健康まつりもウェスタ川越で開催され、医療画像展にもたくさんの方に足を運んでいただくことができました。

支部勉強会・定時総会も4年ぶりのウェスタ川越で開催致しました。参加者が減ってしまうのではないかと懸念もありましたが、たくさんの方にお集まりいただき会員の皆さまと久しぶりに顔を合わせる事ができ、情報交換の場にもなったのではないかと思います。ご参加いただいた会員の皆さまありがとうございました。

納涼会・新年会などの親睦行事につきましては自粛とさせていただきました、2024年度も周囲の状況を見定めながら開催を検討していこうと思います。

【報告事項】

1. 第三支部定時総会・勉強会

(ア) 開催日程 : 2024年3月14日 (木)

(イ) 開催場所 : ウェスタ川越 活動室1

(ウ) 内容 : 定時総会・勉強会

・2023年度事業報告・2023年度決算報告・2024年度事業計画案

・2024年度予算案・2024年度役員改選

【メーカー講演】

・シーメンスCT最新情報

第109回RSNA最新報告、最新CT装置での働き方改革

シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 中島 彩

【技 師 講 演】

・緊急性の高い胸部疾患～大動脈解離～

埼玉医科大学病院 中央放射線部 長嶋 賢太

・「Dynamic Digital Radiography単純X線撮影は、動画撮影の領域へ」

埼玉医科大学病院 中央放射線部 関谷 陸

(エ) 参加人数 : 42人



各支部掲示板

2. 第4回川越市健康まつり実行委員会

- (ア) 開催日程 : 2024年3月19日 (火)
- (イ) 開催場所 : 川越市保健センター 2階
- (ウ) 内容 : 振り返り・今後の実施方法について

3. 2024年度 第1回第三支部役員会

- (ア) 開催日程 : 2024年4月
- (イ) 開催場所 : 埼玉医科大学国際医療センター
- (ウ) 内容 : 年間活動予定・勉強会について

【今後の予定】

1. 第1回川越市健康まつり実行委員会

- (ア) 開催日程 : 2024年5月17日 (金)
- (イ) 開催場所 : 川越市保健センター 3階
- (ウ) 内容 : 第38回川越市健康まつりについて

2. 第三支部勉強会

- (ア) 開催日程 : 2024年6月下旬
- (イ) 開催場所 : 未定
- (ウ) 内容 : 未定

※詳細が決まり次第、第三支部ホームページにてお知らせ致します。

第三支部の活動の詳細は、第三支部ホームページ (<http://saitama3shibu.jimdo.com/>) をご覧ください。

第四支部

第16回 行田市健康フォーラム 参加報告書

第四支部 大谷 智則

2024年3月17日（日）に行田市産業文化会館において「食べることは生きること」をテーマに、第16回行田市健康フォーラムが開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響によりしばらく中止になっており、多くの来場者がみえるか心配でしたが、第四支部催しの骨密度測定に66人の参加がありました。

これからもこのような活動を通して、診療放射線技師の職種・役割を広く知っていただき、多くのかたがたの健康維持のお手伝いできればと思います。



第16回 行田市健康フォーラム実行委員

氏名	施設名
大野 渉	羽生総合病院
柏瀬 義倫	深谷赤十字病院
高井 太市	小川赤十字病院
浅見 純一	行田中央総合病院
大谷 智則	行田総合病院

第六支部

～ Lock on ～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

- ・巻頭言
- ・支部役員退任あいさつ
- ・第六支部 2023年度 定期総会 開催報告書
- ・第六支部 第3回定期講習会 報告書

巻頭言

奮励努力

埼玉県立小児医療センター 木暮 萌絵

皆さんは5年間と聞き、どういう印象を持ちますか。短い、それとも長いでしょうか。私は就職して5年が経過し、今年で6年目になります。振り返るとあっという間でしたが1年目の頃を思うと結構経ったという印象もあります。しかし長い目で見ると技師歴5年は短く、転職しない限り後数十年は放射線技師として働くことになります。学生のころと違って定期的な試験や行事もなく言ってしまうと毎日同じ日々です。その中でどのような日々を送るべきかは少し悩んでいました。

5年目になった昨年、私は新たにCT検査と核医学検査の業務も行うようになりました。CT検査は夜勤帯にも行うので抵抗感はありませんでしたが、核医学検査は学生時代、座学で学んだのが最後でした。学んだ内容はほぼ忘れてしまっており、どういう流れで検査を行っているのかも分かりませんでした。そのため核医学検査に携わると決まった時、1から勉強しなそうと思い教科書を読みましたがそこに記載されているのは一般的な検査内容、薬剤の集積機序などでした。しかし実際に核医学検査を行うようになって難しいと感じたことは薬剤の準備や針操作、また解析して得られる画像が臨床上あり得ない結果になっていないだろうかということでした。

このように放射線技師として実際に働いてみると教科書には載っていない手技や接遇などで悩むことがあると思います。また普段あまり携わっていないからこそ、いざという時に押さえておきたいポイントを知りたいということや就職して数年後に新しいモダリティに配属され、初歩的なことから学びたいということがあると思います。そういう時はぜひ各支部で行われている講習会に参加してみてください。さまざまな段階を対象とした講習会を行っているため自分の必要としている講習会が見つかると思います。私自身も長い技師人生、より豊かなものにするために学び続けていきたいです。

支部役員退任あいさつ

このたび第六支部役員を退任することとなりました。2年間学術担当として講習会の運営や座長など貴重な経験をさせていただきました。短い期間ではありますが会長はじめ役員の皆さまにお力添えいただいたこと、心より感謝申し上げます。

彩の国東大宮メディカルセンター 小保方 駿

4年間にわたり広報を務めさせていただきました。着任当初はまだコロナ禍ということもありオンラインのみでの活動でしたが、任期後半あたりから講習会など実地開催をしていただき、他施設のかたがたとの交流などとても貴重な経験をさせていただきました。会長はじめ役員の皆さまには大変お世話になりました。今後は技師会の一会員として第6支部の活動を応援させていただきます。4年間ありがとうございました。

さいたま北部医療センター 吉井 肇

4年間、総務として務めさせていただきました。会長をはじめ役員の方には大変お世話になりました。3年間はWeb上での集まりとなり総務としてできることは少なかったですが、とても貴重な経験をさせていただきました。

これからも積極的に技師会の活動に参加していきたいと思います。

丸山記念総合病院 野口 裕輔

2年間第6支部の役員を務めさせていただきました。至らぬ点も多くありましたが他施設の方との交流や情報を知ることができ貴重な経験をさせていただきました。その経験を日常の業務に生かしていきたいと思います。また、今後も一会員として第6支部の活動に参加させていただきたいと思います。2年間ありがとうございました。

埼玉県立小児医療センター 畠山 祥一

1年間、会計を務めさせていただきました。至らぬ点も多く、会長をはじめ役員のかたがたには大変お世話になりました。異動により1年間という短い期間しか6支部の役員として活動することができませんでしたが、貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

埼玉県立小児医療センター 木暮 萌絵

2023年度 定期総会 開催報告書

報告書作成者：第六支部理事 仲西 一真

日時

開催日時：2024年3月22日（金） 19：00-19：30

支部会員数と出席者数

会員数：349人

総会出席者：26人

委任状提出者：185人

総会成立

支部規約第8条の規定により、会員の過半数を超えたため、総会は成立しました。

事業報告と収支報告

2023年度の事業報告では、支部の活動内容や成果を詳細に説明しました。

収支報告では、経費と収入の詳細を示し、支部の財政状況を報告しました。

監査報告

2024年1月23日に支部監査を実施し、事業執行と会計状況を確認しました。

事業執行に不適切な内容は認められず、会計状況も指摘すべき事項はありませんでした。

2024年度の事業予定案

定期講習会や納涼会など、支部の活動計画を説明しました。

予算案

2024年度の予算案を提示し、支部の運営に必要な経費を計画しました。

運営方針

講習会を集合形式で開催し、新人や若手が発表経験を積める場を提供します。

小規模な支部であることを活かし、参加者が活発な意見交換を行える場所にします。

来年度からは納涼会や忘年会を再開し、支部会員同士が交流できるようにします。

第3回定期講習会 報告書

報告書作成者：上尾中央総合病院 上原 雅人

日 時：2024年3月22日（金）19：35-20：45

会 場：さいたま赤十字病院 2階多目的ホール

参加人数：26人（役員・演者含む）

上腹部MRI 攻略ガイド

上尾中央総合病院 木下 友都

他の撮影部位に比べて難易度が高いイメージがあるという上腹部MRI検査について、演者自らの経験を踏まえたポイントや若手技師へのアドバイスが述べられた。さまざまなシーケンスを組み合わせることで鑑別診断や治療方針を決める重要な情報が得られるMRI検査において、それぞれの特徴・役割を理解し、パラメーター設定による変化や呼吸を上手にコントロールすることで情報量の多い画像を撮影できるという講演であった。

近年コロナによりWeb開催が続いていたが、今年度の定期講習会は3回いずれも集合型で開催した。さまざまな施設から多くの方にご参加いただき、実際に顔を合わせて意見を交えることで賑わいのある講習会となった。来年度も集合型での開催を予定しており、新人・若手技師が発表経験を積む場所となるべく、小規模であることを活かした活発な意見交換が行える講習会を目指していきたい。